


アカデミック英語 No.2

英語記述・要約を"パラグラフ構造"で書く —— 論点を一段上の位置で整理する

 **今日のゴール**：英語記述・要約を「思いついた順に書く」戦略から脱して、**Topic Sentence** → **Supporting Evidence** → **Analysis** → **Concluding Sentence** の TEAS 構造を習得する。医学部入試の英語記述（50～200語）を、採点者が読みやすい論理構造で書ける力を身につける。

 **新課程対応版（2026年改訂）** | 構造的記述の基本は新課程「論理国語」で強化されています。本講座では英語パラグラフライティングの実戦技術として完成させます。

この授業の問い

1. **Topic Sentence**（主題文）が「段落の主張」を一文で言い切る必要があるのはなぜか？
2. 「要約」と「意見文」では、パラグラフの構造がどう変わるか？
3. 医学部英語の記述問題で採点者が最初に見るのはどの部分か？

※ 前回（No.1）で学んだ「段落の役割を見抜く」読みの技術を、今回は「書く」技術に転換します。

🔑 TEAS 構造（1パラグラフの設計図）

Topic Sentence（主題文）：この段落で「何を主張するか」を一文で宣言

Evidence（根拠・事実）：主張を支持するデータ・事実・引用

Analysis（分析・解説）：証拠がなぜ主張を支持するかを説明

Summary/Transition（まとめ・次への橋渡し）：段落を締め、次の段落への接続

✏️ 例（Topic Sentence の比較）

❌ **弱い Topic Sentence** : *"This paragraph is about aging populations and healthcare."*

→ 「何について書くか」を述べるだけで主張がない

✅ **強い Topic Sentence** : *"The aging of Japan's population will fundamentally transform the demands placed on its healthcare system."*

→ 「主張（変革が起きる）」が明確。段落の方向性が一文で決まる

💡 **ワンポイント：採点者は Topic Sentence を最初に読む** 医学部英語の採点者は答案を全文精読するのではなく、Topic Sentence を先に読んで「論点が明確か」を判断する。Topic Sentence が曖昧な答案は、内容が良くても「論点不明」として減点される。

採点者の視点

採点者はここを見ている —— 英語記述・要約・パラグラフ構造で合格答案はこういう「構造」をしている**① なぜ同じ答えでも評価が違うのか**

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しい内容を書いている、論理の構造が見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

英語記述・要約・パラグラフ構造では、**パラグラフ構成の根拠**の理解が答案の質を大きく左右します。

② 英語記述・要約・パラグラフ構造で採点者が見ているポイント

「Main idea→Evidence→Conclusionの3段構成で書いた」と根拠を示した答案が採点者評価を上げる

💡 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「論理を俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所